



《グラフィヤ特集》

近代化する住い

写真は県営八島団地(熊本市)にて

して、近く建設にかかるようにしております。

☆ そうしますと、これからは不足したからお家を建てましょうという時代ではないんですね。

☆ いままでには住宅を建設して、はいってでもえすればいいというようなことでしたけれども、やはり住宅環境整備に力を入れて行かなければならない。そこで私の方でも団地内の道路の整備、あるいは公園施設の整備、樹木を植えるとかです。その他いろいろ都市施設をやっているわけです。

☆ そこですが、ところで、県の住宅課の仕事では、ほかにどんな仕事があるのか、県の住宅対策の実際についていろいろお聞かせしていただきませんか。

中小企業や農村の住宅対策も

☆ 私の方では、県営住宅の建設、そういった維持管理、それからいま申し上げました住宅環境の整備そのほか市町村でも公営住宅を建設しています関係上、この面の指導もやっているわけです。さらに、中小企業者の従業員のための住宅建設、こういったものも私の方で建設して、中小企業の人たちに分譲しているわけです。

☆ 中小企業の従業員のための住宅ということですね。例えばどういったものを……。

☆ そうですね。病院などで、十人以上の従業員を雇っている方々のための住宅を建設しまして、これを二十年で返済していただくという仕組みになっていま

す。建設に際しては県の方で全部お世話いたしますので手間もかかりませんし、お金もいらぬということですね。こういったことで中小企業者の方々に非常に喜ばれると思うって、これは相当申し込みが多いんじゃないかと期待してたんです。PR不足もあつたたのではないですか。

☆ そういった点も多少はあつたと思えますが……。そのほかに公団、公庫の(これも中小企業者のための住宅)分譲住宅をやっているわけです。これは四〇%位の融資ですけれどもね。そのほか本県は何と申ししても農業県でもありませんので、従来の農家あるいは漁村の田の字型の住いを改良する意味で、農漁村住宅の改良に融資をするというような仕事をやっているわけです。

☆ そうですか、県営の住宅も含めて市や町村で建てる住宅は年間に何戸ぐらいですか。

☆ 千二百戸ぐらいでしょうか。

☆ そんなにたくさん建てていらつしやるのですか。

☆ 県の場合ですと大体三百戸ぐらいです。

☆ 入居条件もいろいろあるわけでしょうか。

☆ そうです。一応、収入基準ですけれども、これは年間八十万円以上の勤労者の方ということですね。しかし、最近はかなり高収入の方が長年はいっていらつしやいますね、そこでできるだけ若い低所得者の方にお譲りをいただきたいと呼び

かけているわけです。

☆ こういった県営住宅はこれからも造っていかれるわけですか。

☆ はい、今後はやはり、質の向上を考えたがら建設をしていきたいと考えております。

都心にふえる住宅

☆ よく、「一戸建ての庭つきの家」というのがこれと希望を持つわけですが国民みんなが、そういう住いをもつことができたかどうかと思うことがあるんですよ。

☆ そうですね、日本の場合は土地の絶対量が少ないわけですから、おそらくそういうことは不可能でしょうね。例えば、東京を例にとりますと、百数十万戸不足しているわけですが、こういう方々に四十五坪の土地を与えたとしますと、関東平野の七倍の面積があるわけですね。

☆ じゃ一日かかって都心に通勤しなければならぬわけですね。

☆ いまも二時間とか、一時半とか通勤時間をかけて通勤している状態ですが非常に疲弊している。結局そういう方は、また都心に近いマンションを買い替えるという現象が起きているようですね。

☆ 土地が限られているということになりますと、「庭つきの家」などは縁遠くなりますね。

☆ そうですね。

していらつしやいますか。

☆ 県としては、都心に近い所には公営住宅を建てていく、そして庭つきの住宅は、やはり中層階級の方に分譲していき、こういった二本の柱を建てていきたい、その線に沿っていききたいと考えています。

☆ 例えていいますと……。

☆ 最近新聞にも広告をだしましたけれども、「広町マンション」あたりを建設したいと考えています。

☆ 「広町マンション」これは私達もはいるのでしようか。

☆ ええ、もちろんこれは皆さんおは入りできます。申込みも相当多いようですよ。

☆ こういう形の、都心に建つ私達の住いは、今後増えていくのでしようか。

☆ いろいろ私の方でも計画をしておりますが、やはり市民の希望にそういうマンションをできるだけ作っていききたいと考えています。

☆ まずは土と縁遠くなっていく時代になってしましますけれども、せめて住いの条件としては食事する部屋と寝室は別にとか、親子別々の部屋があるぐらいに、皆が住めるようにしていただきたいのですけど……。

☆ 公営住宅の場合でもそういう食事の部屋と寝室は別々というようなビジョンをもって建設を進めていきたいと思っております。

(RKK放送「県民のひろば」から再録)